# Volunteer NPO Center News Letter

ボランティア・ＮＰＯ活動センター通信

No.38　発行日：2020年4月

龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO活動センターの活動をご紹介する情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい！　ボランティア活動に参加していただきたい！　そんな思いを込めて作成しています。

## 「センター20周年を迎えて　～ボランティアがいない社会の危険性～」

時折、「ボランティア活動の目標はボランティアがいなくなること」「ボランティアがいない社会をめざそう」といった表現に出会うことがあります。

前者は、ある問題状況を改善・解決するために先駆的にボランティアとして活動している場合、自分たちの活動によって状況が改善・解決されると、自分たちが活動する必要がなくなる、それをめざそうという意味でしょう。自分たちの組織を維持するためだけの活動というのは本末転倒だ、という批判も含めて使われることが多いように思います。

後者は、特別に「ボランティア」と言わなくても、誰もが人権意識を持ち、困った状況にある人を自然に手助けできるような社会が理想ということを表しているのでしょう。

さて、皆さんはどう思われますか？　私の答えは、“yes and no”（そうとも言えるし、そうでないとも言える）です。なぜ、NO なのか？

それは、私たちが暮らす社会の中で解決すべき問題は無数に存在する上に、次から次へと新しく生まれているからです。例えば、自然災害もそうですし、今まさに全世界が直面している新型コロナウイルス感染症もその一つです。つい数ヶ月前、このような事態が起きると誰が予想したでしょう。感染拡大に伴ってこれから様々な困難に見舞われる人々や地域が出てくるはずです。そしてその状況に対して「ほっとけない」と支援活動を始めるボランティアもきっと出てくるはずです。

また、悲しいことですが、人間は誰しも（私自身も）“潜在的な偏見”というものを持っています。人種差別、ハンセン病患者への差別、東日本大震災による東京電力福島第一原発事故で福島から避難した人たちに対する差別など、これまた常に“新しい差別”が発生してしまいます。だから、差別や偏見に立ち向かおうとするボランティアの存在は、人間社会において永遠に必要であり続けるのです。

ボランティアがいない社会・・・新たに発生する生活困難の解決のために声をあげる人がいない社会。常に自分の中の人権意識を研ぎ澄まし、異なる人々を排除せずとともに生きていくことを実践する人がいない社会。それは、とてももろく危うい社会です。

本学ボランティア・NPO 活動センターは 2021 年に設立 20 周年を迎えます。もろく危うい社会ではなく、土台のしっかりした共生社会を作っていくために、これからもますます学生や教職員のボランティア活動への参加支援や NPO や地域団体との連携を進めていきたいと思います。ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

ボランティア・NPO 活動センター長
筒井　のり子

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴うボランティア活動についての考え方
### ～ボランティア活動を考えている学生・教職員の皆さまへ～

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本学でも卒業式や入学式、履修説明会などが中止されました。さらに課外活動についても、本学ポータルサイトなどで自粛や感染予防方法の徹底が要請されています。

これまで様々なボランティア活動に参加してこられた皆さんも、『自分自身が感染するリスク』と『（知らずに）感染させてしまうリスク』の2つがあることに十分に留意して、慎重に行動してください。

私たちが今しなければならないこと、今できること、今後ボランティア活動に参加する際に留意することなど、詳細はセンターHP にアップしていますので、ぜひご覧ください。https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-5233.html

# 2019 年度の事業報告 （2019 年 4 月～2020 年 3 月）

ボランティア・NPO 活動センターでは、龍谷大学の学生・教職員の皆さんに向けて、ボランティアの一歩を踏み出すための様々なプログラムや、学生スタッフによるボランティア企画などを提供しています。2019 年度は以下の通り各事業を行いましたので、その様子をご報告いたします。詳しくはホームページ（https://www.ryukoku.ac.jp/npo/）をご覧いただくか、センターまでお問い合わせください。また、活動報告書も今夏頃に発行予定ですので、今しばらくお待ちください。

## ボランティア入門講座（5～6 月）

第 1 回：講義「ボランティアって何だろう？」（5 月）
第 2 回：8 か所に分かれてボランティア体験（6 月）
第 3 回：活動の振り返り（6 月）
第 1 回と第 3 回は各キャンパスで行い、第 2 回は希望する体験先で合計 87 名の学生が活動しました。

竹林整備活動

子ども食堂

## ボランティアリーダー養成講座（8 月・2 月）

第 1 回（8 月）@瀬田キャンパス：学生 55 名が参加
テーマ：「伝える力」「巻き込む力」を鍛えよう
講師：山口浩次氏（大津市社会福祉協議会）他 2 名
第 2 回（2 月）@深草キャンパス：学生 33 名が参加
テーマ：「今日からできる、いいチームづくり」
講師：中村彰利氏（京都 YMCA）

第 1 回

第 2 回

## 東日本大震災復興支援ボランティア（8 月・9 月）

8 月

2011 年の発災以降、毎年宮城県石巻市雄勝町にボランティアバスで赴いています。2019 年度も募集定員が 8 月・9 月それぞれ 30 名のところ、全体で 85 名の応募がありました。今回参加した学生には、語り部の方のお話や住民の皆さんとの交流を通じて感じたことを周りに伝え、今後も関心を持ち続けていって欲しいものです。

9 月

## 海外体験学習プログラム（夏期および春期休暇中）

観光地やリゾート地を訪れる旅行とは異なり、その国や地域が抱える問題について、現地の取り組みや交流などを通して体感するスタディツアーを長期休暇中に行っています。プログラムの前後には学習会、全コースが終了した後には報告会も行い、学びを深める工夫をしています。

2019 年度は、NGO 団体のツアーの中から採択したタイ王国（夏）と台湾（春）のプログラムを実施し、合計 7 名の学生が参加しました。（春のプログラムの一部は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。）

夏：タイ王国

春：台湾

## 学生スタッフの合宿（6 月・9 月）

学生スタッフが活動に必要なスキルや知識を身に付け、今後の活動を円滑に行えるよう、毎年 3 回の合宿を行っています。

深草・瀬田の合同で行う 6 月のオリエンテーション合宿には 83 名、夏休み中にキャンパスごとで行う夏合宿では深草 44 名、瀬田 34 名の学生が参加し、より良いセンターにするためのさまざまな話し合いやワークショップを行いました。（3 月の春合宿は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。）

オリエンテーション合宿

## 学生スタッフによるボランティア企画

瀬田・深草の学生スタッフが下記のボランティア募集を行い、全企画合わせてのべ 64 名の龍大生が学生スタッフと一緒に活動しました。

・サマーフェスティバル@深草児童館（8 月）
・『深草ふれあいプラザ』への協力@藤森神社（10 月）
・『南区民ふれあいまつり』でのブース出展@東寺（11 月）

南区民ふれあいまつり

大津祭

〇瀬田学生スタッフ企画
・大津祭りへの協力@大津市内（10 月）
・スペシャルオリンピックスを知ろう！@近江八幡市内（11 月）
（3 月の防災イベント『そなえパーク』への出展は、新型コロナウイルスの影響でイベント自体が中止になりました。）

## 龍谷祭での展示と模擬店（10 月@瀬田・11 月@深草）～ 台風 19 号災害への寄付

深 草

瀬 田

両キャンパスの龍谷祭で、学生スタッフがボランティアや社会課題に関する展示と共に、令和元年台風 19 号被災地支援のための募金箱を設置。模擬店収益との合算金額 95,062 円を、中央共同募金会に寄付しました。

中央共同募金会にて

## 国内体験学習プログラム（春期休暇中）

今年度で 5 年目となる福島スタディツアーでは、学生 14 名が筒井センター長、竹田コーディネーターと共に福島県へ赴き、東日本大震災の福島第一原発事故の影響による様々な課題に取り組まれている南相馬市内の人々や団体を中心に訪問。たくさんのことを学び・考え・悩んだ 5 日間となりました。

近江八幡

福 島

古くからあるものを大切にしたまちづくりや、多様性を認めながらボーダレスな社会を目指した取り組みがなされている滋賀県近江八幡市を訪問。今年度初めてこのプログラムを実施し、國實コーディネーター引率のもと、14 名の学生が様々な方のお話を伺いながら学びを深めました。

## 関係団体との共催事業

関係団体と共催で、以下の事業を行いました。
・NGO スタディツアー合同説明会（6 月・11 月）：
特定非営利活動法人関西 NGO 協議会、㈱マイチケットとの共催で実施し、来場者数は 6 月 84 名、11 月 38 名でした。
・ボランティアコーディネーション力 3 級検定（9 月）：
認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会との共催で実施し、本学学生 23 名と一般の方 18 名が受験しました。

合同説明会

3 級検定

## 2020 年度の事業予定

新型コロナウイルス感染拡大に伴って、例年実施しているセンター主催事業については、大学の方針が確定次第、ホームページなどでお知らせいたします。

センターの公式 twitter、facebook などをフォローすると、ホームページのお知らせ内容を確認いただけます。ぜひともフォローいただきますよう、お願いいたします。

Facebook　Twitter　ホームページ

## 深草のボランティア・NPO 活動センターが『成就館』へ移転

深草キャンパスで建て替え工事が進んでいた文化系サークル等の課外活動拠点となる建物が、このたび『成就館』として新生オープンしました。それに伴って、深草のボランティア・NPO 活動センターもそれまでの７号館から同館１階に移転し、新しいことに挑戦したいという龍大生の皆さんを更に応援できるよう、環境を整備いたしました。

学生へのボランティア相談対応、各種書籍やリユース傘の貸出は、学生スタッフが常駐するスペースにて行います。その他にも、事務室へお声がけいただければ対応いたしますので、新しくなったボランティア・NPO 活動センターにぜひお気軽にお越しください。

また、瀬田キャンパスのセンターも同様に、学生スタッフや職員一同、来室をお待ちしております。

### 深草キャンパス（開室日　月曜日～金曜日）

〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67
Tel　075-645-2047　Fax　075-645-2064
京阪本線「龍谷大前深草」駅下車、西へ徒歩３分
JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩８分
京都市営地下鉄「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約10分

### 瀬田キャンパス（開室日　月曜日～金曜日）

〒520-2194
大津市瀬田大江町
横谷1-5
Tel　077-544-7252
Fax　077-544-7261
JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、
帝産バス約８分

**【ボランティア・NPO 活動センター開室時間】**

【深草】平日 8:45～16:45（火曜は 10:30～16:45）　【瀬田】平日 9:00～17:00（火曜は 10:45～17:00）

# Volunteer NPO Center News Letter

ボランティア・NPO活動センター通信　No.38

発行責任者：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター　センター長　筒井のり子
ホームページ：https://www.ryukoku.ac.jp/npo/、E-mail：ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
SNS：Facebook：龍谷大学ボランティア・npo 活動センター、Twitter：@ryuvnc

深草キャンパス：〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町 67
成就館 1F
内線 1490、Tel:075-645-2047、Fax:075-645-2064

瀬田キャンパス：〒520-2194　大津市瀬田大江町横谷 1-5
青志館（生協食堂）横
内線 7252、Tel:077-544-7252、Fax:077-544-7261

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY